

## 2020年度事業計画

### 理事長所信

2020年度の瀬戸青年会議所は、「明日を切り拓け～Breakthroughへの挑戦～」をスローガンに掲げ活動を展開して参ります。

これまでの尊い挑戦の歴史により築かれた道を歩む機会をいただいた我々もまた、その先に立ちほだかる様々な難問や課題という「壁」を乗り越えて、新たな道を切り拓いていかなければなりません。

そこで、乗り越えるべき課題を明確にし、その課題を解決に導くためには何をすべきか、そして切り拓かれる先に待ち受けている未来像までを見据える「考え方」は、いつの時代も変わらない説得力を与えてくれ、我々の成長を大きく後押ししてくれます。また、多くの人を巻き込むことのできる力を向上させることは、青年経済人として乗り越えるべき「壁」であり、その先には必ずやメンバーの成長が待っています。

瀬戸は近年、幸いにも「災害が少ないまち」でありました。しかしながら、近年の巨大地震や風水害などは、科学的に予想されていた時期や場所、規模などを覆して発生し、甚大な被害が生じています。だからこそ、「災害が少ないまち」に留まるのではなく、「災害に強いまち」となることは、これから先の「新たなまちの魅力」が秘められていると考えます。行政と市民とが一体となっていくことができれば、瀬戸を真の意味で「災害に強いまち」にすることができるのではないのでしょうか。

また、信じあえる仲間が増えるほど、結集すべき英知と勇気と情熱も大きくなり、明るい豊かな社会の実現に向けた歩みを大きくすることができます。会員拡大における乗り越えるべき「壁」は非常に高いです。我々の活動内容に自信と誇りを持ち、発信することで、未だ見ぬ仲間となり得る方々に知っていただく機会を増やし会員拡大活動に取り組んでまいります。

会員数が減少傾向にある中、組織の維持だけに傾きかねない危機感を抱いております。瀬戸青年会議所が活動の本質を見失うことなく、今後も続けていくには会員拡大とともに、組織を変革することに勇気をもって挑戦してまいります。

### 基本方針

メンバーの資質向上による地域発展への取組  
「災害に強いまち」となり得る事業の実施  
会員の増加を含めた組織基盤強化  
組織の抜本的な見直し

### 公益目的事業

明るい豊かな社会の実現を目的として、地域の経済・社会及び文化の向上のため

に、一般市民を対象とした次の事業を行う。

1. まちづくり事業

「災害に強いまち」が地域の魅力になるように、多くの人を巻き込み事業を展開し、まちの発展に寄与する。

「明るい豊かなまちづくり」の為に尽力されている、個人、団体、活動（事業）等を表彰し、広く社会にPRする事により地域の向上と発展に寄与する。

2. その他、地域の発展に寄与する為の事業を実施する。

### 共益目的事業

青年会議所活動を円滑に運営していく事を目的として、次の事業を行う。

1. 会員拡大事業

青年会議所活動を継続していく為に、会員の増加を目的とした事業を実施する。

2. 会員の交流に関する事業

- (1) 2019年度の理事長に対して労をねぎらい、感謝の意を表する直前理事長感謝の会を行う。
- (2) 今年度卒業する瀬戸青年会議所メンバーの卒業式を行う。

3. 会員の資質向上に関する事業

青年会議所の運営・事業をより円滑に行うため、また地域の青年経済人として地域に貢献するために、会員の資質向上のための研修等事業を行う。

2020年度 委員会事業計画書

委員会	未来創造特別委員会		
委員長	近澤 武司	幹事	佐分利 仁志 鈴木 康浩 鈴木 雄大
基本方針	<p>伝統文化と共に成長してきた瀬戸のまちにおいては、まだ光が当たってこなかった魅力の原石があると感じます。産業構造が過渡期にある中、今後も瀬戸のまちが発展していくためには、このような魅力の原石を磨き上げていく必要があると考えます。但し、我々メンバーだけでは行えることに限界があると感じます。だからこそ、我々メンバーが未来への道筋をつくる力を高め、多くの人を巻き込む力を身につけなければなりません。</p> <p>そこで、未来創造特別委員会では、課題解決まで導く思考力を高めると共に、多くの人を巻き込むための協同力を身につけてまいります。そして、瀬戸青年会議所が行政・市民とのパイプ役となり、共に「災害に強いまち」という秘められた魅力の原石を輝かせてまいります。その中で我々の活動の熱意を伝播させることで、未だ見ぬ新たな仲間との出会いにもつなげてまいります。</p> <p>我々メンバーが、未来に向けて自らが中心となって課題解決できる青年経済人となり、これからの瀬戸のまちの未来を輝かせてまいります。</p>		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資質向上事業             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 思考力向上事業(4月例会)</li> <li>(2) 協同力向上事業(6月例会)</li> </ol> </li> <li>2. まちの未来創造事業             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 災害対策構築事業(3月例会)</li> <li>(2) 未来につなぐ防災事業(7月例会)</li> </ol> </li> <li>3. 未来を切り拓くスタッフ育成事業(10月)</li> <li>4. 新年賀詞交歓会(1月)</li> <li>5. 次年度理事長激励の集い</li> <li>6. 卒業生を送る集い(12月)</li> <li>7. 第64回瀬戸JC賞に関する業務             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 募集・調査・分析(1月~5月)</li> <li>(2) 表彰式</li> </ol> </li> <li>8. とうかい号に関する業務             <p>第47回JC青年の船「とうかい号」 寄港地台湾(中華民国)台北市(5月31日~6月6日)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「とうかい号」乗船者募集</li> <li>(2) 乗船者に対する業務                 <ul style="list-style-type: none"> <li>乗船者の支援に関する業務</li> <li>乗船者のための結団式(5月)</li> <li>乗船者の報告会(6月)</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>9. 入会希望者ガイダンス(随時)             <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年7月入会希望者</li> <li>2021年1月入会希望者</li> </ul> </li> <li>10. 新入会員面接(随時)             <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年7月入会希望者</li> <li>2021年1月入会希望者</li> </ul> </li> <li>11. 新入会員認承証伝達式</li> <li>12. 各種会議に関する業務             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 京都会議(1月16日~19日)</li> <li>(2) 東海フォーラム(多治見)(7月4日)</li> <li>(3) サマーコンファレンス(7月18日~19日)</li> <li>(4) 第69回全国大会(札幌)(9月24日~27日)</li> </ol> </li> </ol>		

2020 年度 委員会事業計画書（案）

委員会	総務委員会		
委員長	倉石 憲吾	副委員長	大橋 裕介 近澤 周司
委員	伊藤 公一 鈴木 雄大	大橋 一太 成瀬 一人	須崎 徳之 鈴木 康浩
基本方針	<p>先輩方が紡いできた瀬戸青年会議所が、今後もまちの発展に寄与し続けていける団体であるためには、変わりゆく時代とともに組織を見つめ直し、メンバーが一致団結し目的達成に向かう環境を整えることが重要です。</p> <p>そこで、活動の根幹を担う総務委員会では、瀬戸青年会議所の進むべき方向性を共有するための総会・例会の設営及び、例会の運営を厳粛に執り行うことで、メンバー同士の結束力が高まるように努めてまいります。また、例会の開催意義を伝えることで、出席率の向上を図ります。そして、我々の行う活動を広く理解していただくために継続して情報を発信し、いただく意見には適時に対応いたします。さらに、定款の研究に注力し、誰もが輝ける未来につなげてまいります。</p> <p>メンバーの活動を最大化させる可能性を求め、メンバーが一丸となる活動を展開してまいります。</p>		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1．総会・例会の設営及び例会の運営</li> <li>2．直前理事長感謝の会（1月例会時）</li> <li>3．出向者の出陣式（1月例会時）</li> <li>4．次年度の為の例会（11月例会）</li> <li>5．卒業生を送る会（12月例会）</li> <li>6．広聴広報活動に関する業務             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ホームページの更新と運用（1月～12月）                 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種情報の発信と収集</li> </ul> </li> <li>(2) JC ニュースの編集・発行</li> <li>(3) 活動の記録保存整理・調整</li> <li>(4) 報道機関との窓口業務</li> <li>(5) (一社) 瀬戸青年会議所 PR</li> </ol> </li> <li>7．褒賞・表彰及び慶弔に関する業務</li> <li>8．出席率の向上と出席表の作成</li> <li>9．定款の研究及び周知</li> <li>10．各委員会及び委員への連絡・調整</li> <li>11．奉仕箱の管理に関する業務</li> </ol>		

2020 年度 委員会事業計画書（案）

委員会	事務局		
事務局長	水野 秀章	事務局次長	金光 樹里
事務局員	佐分利 仁志		
基本方針	<p>時代や社会の変化など取り巻く環境が変わろうとも、事務局は瀬戸青年会議所の頼れる縁の下の力持ちとして務めてまいりました。限られた時間の中で、瀬戸青年会議所の活動をより一層効果的なものにするために、活動に専心できる環境づくりをすることが、事務局の担いであると考えます。</p> <p>そこで事務局では、瀬戸青年会議所の中核をなす理事会、正副理事長会議の円滑な進行のために、期限遵守の励行及び正確な資料の作成と配信を丹念に取り組みます。そして、尾張東 6JC 間の連絡・調整を密にし、メンバー全員が LOM の枠を越えて交流を深められるよう、情報共有にも努めます。事務局備品やデータの管理、各種会議体や姉妹 JC に関する業務など、対内外いずれの業務にも真摯に向き合います。</p> <p>事務局は、明るい豊かな社会の実現という、「変わりゆく同じもの」を追求する瀬戸青年会議所の安定した土台を担ってまいります。</p>		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事会の設営</li> <li>2. 正副理事長会議の設営</li> <li>3. 事業計画書並びに予算書、事業報告書並びに決算書、 会員名簿の作成</li> <li>4. 諸規程の研究及び周知</li> <li>5. 事務局備品の管理</li> <li>6. 文書・データの保存・管理</li> <li>7. 尾張東 6JC 間の連絡・調整</li> <li>8. 各種会議に関する業務             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 名古屋会議（2月11日）</li> <li>(2) 第53回愛知ブロック大会（尾張旭）（9月5日）</li> <li>(3) JCI 世界会議（横浜）（11月3日～11月7日）</li> </ol> </li> <li>9. 各種会議に関する窓口業務             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) JCI ASPAC（アンコール）（6月11日～6月14日）</li> </ol> </li> <li>10. 姉妹 JC に関する窓口業務</li> </ol>		